

**第4回矢臼別演習場・風蓮川水系土砂流出対策等検討委員会  
議事要旨**

1. 開催日時:平成22年1月22日(金)13:30~16:00

2. 開催場所:北海道防衛局会議室

3. 出席者:

**【委員長】**

新谷 融 (NPO法人環境防災総合政策研究機構北海道支部 支部長)

**【委員長代理】**

黒木 幹男 (財団法人河川環境管理財団北海道研究所 所長)

**【委員】**

小川 巖 (酪農学園大学環境システム学部 教授)

川村 洋司 (北海道立水産孵化場内水面資源部 主任研究員)

立澤 静夫 (別海漁業協同組合 専務理事)

眞山 紘 (北海道栽培漁業振興公社 技術顧問)

丸谷 知己 (北海道大学大学院農学研究院 教授)

渡邊 昇 (別海町郷土研究会 会長)

**【事務局】**

北海道防衛局  
別 海 町

4. 議事の概要等

前回の委員会で改良を実施すべきとされた玉川1号ダムと楓沢2号ダムの基本的な改良の方式等について、委員が以下のとおり議論を行った。

- ・既設の魚道施設には落差や閉鎖等の構造上の問題があり、イトウ等の魚類の遡上やそれら稚魚の降下に影響を与えている。ダムの改良は、この点を解消することを前提に検討すべきであり、河川の連続性の確保(落差が少ない)や稚魚及び小魚等にも対応できる構造とする必要がある。
- ・計画規模の洪水は、現在まで幸い発生していないが、今後も、計画規模の洪水時に対応する緊急安全弁的な土砂流出防止機能は保持すべきである。
- ・下流域の漁業への影響を考慮して、ダム改良工事は短期間で終わる小規模なものが望ましい。
- ・以上の意見を踏まえ、玉川1号ダム、楓沢2号ダムについてはスリット化で対応することとする。なお、その他の河川(ダム)は、次回以降で検討する。